

すべては入間市の未来のために！

入間市議会議員

松本
よしあき



市議会議員になり一年が経ちました。
これからも入間市の未来を見据えて
行政をチェックすること、皆様の声を聞
き届けること、政策を提案することを続
けてまいります。

入間市議会議員

松本よしあき

障がい児支援を変える

現在、障がい児支援は転換期にあり、実施主体である市町村が具体的にどのように展開していけるかが問われております。以下、一般質問の概要です。

質問：「障がい児支援は転換期にあるが本市における課題は。」

福祉部長：「法改正への対応が不十分で一貫した支援が行えていない。」

質問：「健康福祉センターが行う発達支援事業における課題は。」

健康福祉センター所長：「ニーズ把握、情報共有、ネットワーク、引き継ぎ方を再検証する。」

質問：「自立のための一貫した発達支援のために気軽に相談できる総合相談窓口を設置すべきでは。総合相談窓口では発達支援、家族支援、地域支援をライフステージに応じて切れ目なくコーディネートしていく。」

市長：「健康福祉センターの元気キッズの機能を充実させ、組織機構の見直しを捉え検討する。」

質問：「複数のサービスを連携させるためケース会議を実施すべきでは。」

市長：「職員体制や個人情報等の課題があり検討が必要である。」

質問：「放課後等児童デイサービスとショートステイは特にニーズがあるようだが民間との連携で社会資源を充実させていくべきでは。」

市長：「利用ニーズの把握に努める。次期障害者プランに目標が示せるか精査する。」

質問：「近隣市との市独自サービスの相互利用とノウハウの共有は。」

市長：「市独自サービスの相互利用はすぐには難しいが、ノウハウの共有は実現していく。」

今回の一般質問にあたり様々な障がい児支援の現場を視察させていただきました。現場の皆様から実情を教えていただき「入間市の障がい児支援を変えなければならない。」という思いを強くしました。

今の入間市の障がい児支援は現場の声に答えられておりません。今、国では障がい児支援を強化するために法律や各制度の整備が行われています。今こそ入間市の障がい児支援は変わらなければなりません。



【健康福祉センター発達支援事業「元気キッズ」の様子】